

中央西農業振興センター農業改良普及課

管内市町村 管内 J A	土佐市、いの町 J A とさし、J A コスモス（伊野支所、吾北支所）、J A 土佐れいほく（本川エリア）																																																						
地域の概要 ・産地の特徴 ・主な園芸品目	<p>管内は、仁淀川河口部の海岸部から県境の山間部まで多様な農業が営まれている。温暖な海岸部から中流域までは、施設園芸（野菜、果樹、花卉）やショウガ等の露地野菜、山の斜面を活用した中晩柑かんきつ類等、様々な作物が栽培されている。また、中山間部では柚子や直販所向けの農産物が作られており、最近では、農産加工品への挑戦も行われるようになってきている。主な園芸品目としては、施設ピーマン、施設メロン、施設キュウリ、ユリ、ショウガ、青ネギ、土佐文旦、小夏等がある。</p> <p><u>管内の主要な作物の生産状況</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">土佐市</th> <th colspan="2">いの町</th> </tr> <tr> <th>面積(ha)</th> <th>出荷量(t, 千本)</th> <th>面積(ha)</th> <th>出荷量(t, 千本)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピーマン</td> <td>24.9</td> <td>3,437</td> <td>0.2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ユリ</td> <td>34.0</td> <td>4,560</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メロン</td> <td>39.7</td> <td>1,006</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キュウリ</td> <td>13.5</td> <td>2,179</td> <td>1.8</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>ネギ</td> <td>24.8</td> <td>246</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ショウガ</td> <td>50.2</td> <td>1,885</td> <td>22.8</td> <td>385</td> </tr> <tr> <td>シントウ</td> <td>5.2</td> <td>328</td> <td>0.4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>文旦</td> <td>200.0</td> <td>5,520</td> <td>5.0</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>小夏</td> <td>24.0</td> <td>740</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H27年度農産物調査結果 ※ ユリの出荷量単位は千本</p>		土佐市		いの町		面積(ha)	出荷量(t, 千本)	面積(ha)	出荷量(t, 千本)	ピーマン	24.9	3,437	0.2	4	ユリ	34.0	4,560			メロン	39.7	1,006			キュウリ	13.5	2,179	1.8	252	ネギ	24.8	246			ショウガ	50.2	1,885	22.8	385	シントウ	5.2	328	0.4	10	文旦	200.0	5,520	5.0	150	小夏	24.0	740		
	土佐市		いの町																																																				
	面積(ha)	出荷量(t, 千本)	面積(ha)	出荷量(t, 千本)																																																			
ピーマン	24.9	3,437	0.2	4																																																			
ユリ	34.0	4,560																																																					
メロン	39.7	1,006																																																					
キュウリ	13.5	2,179	1.8	252																																																			
ネギ	24.8	246																																																					
ショウガ	50.2	1,885	22.8	385																																																			
シントウ	5.2	328	0.4	10																																																			
文旦	200.0	5,520	5.0	150																																																			
小夏	24.0	740																																																					
地域の課題と重点的な取組	<p>県下有数の施設園芸地帯である土佐市では、生産資材費が上昇しているにもかかわらず、農産物価格は停滞しているために農業所得が圧縮されている。このため、新たな取り組みで所得向上を図っていく必要があり、有効性が確認された作物から炭酸ガス施用を中心とした環境制御技術の普及を進めている（<u>環境制御技術導入による施設園芸産地の強化</u>）。</p> <p>また、いの町を中心とした中山間地帯では、高齢化による生産者の減少で農業の担い手不足感が急速に進行しており、地域農業を維持していくための集落営農の仕組みづくりを関係機関と一体となって推進している（<u>集落営農の推進</u>）。</p> <p>一方これまで、あまり課題視されていなかった園芸地帯においても、生産者の高齢化と担い手不足の状態が進みつつあり、H25年度の主要な品目部会の調査では、調査後10年間で園芸地帯の土佐市では21.7%（100戸）が減少する可能性が出てきている（いの町で34.2%（52名））。このため、産地側で受け入れ体制を整備した上で、新規就農確保対策を行う「産地提案型担い手確保対策」を進めている（<u>提案型担い手確保対策を中心とした中央西地区の農業の活性化</u>）。その他、特産果樹の土佐文旦、青ネギの生産技術の課題や、農家の所得向上を目指す6次産業化の課題等に取り組んでいる。</p>																																																						

<p>人員配置</p>	<p>平成27年度職員総数 12名（うち実務経験が3年未満の職員0名）</p> <table border="1" data-bbox="491 248 1273 495"> <tr> <td>農業改良普及課長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>地域営農担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員 3名 (土佐市、いの町)</td> </tr> <tr> <td>産地育成担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員 6名 (土佐市、いの町)</td> </tr> </table>	農業改良普及課長	1名	地域営農担当	チーフ1名 普及指導員 3名 (土佐市、いの町)	産地育成担当	チーフ1名 普及指導員 6名 (土佐市、いの町)
農業改良普及課長	1名						
地域営農担当	チーフ1名 普及指導員 3名 (土佐市、いの町)						
産地育成担当	チーフ1名 普及指導員 6名 (土佐市、いの町)						
<p>普及活動の進捗管理</p>	<p>重点プロジェクトや複数のチーム員からなる総合課題については、重要な会議を控え打ち合わせが必要な時等、チーム長がチーム員（チーフ、課長含む）招集し、進捗状況や取り組みの手法、役割分担等を話し合う。また、毎月行われる職員会で、隔月毎にチーム長から計画に対する進捗状況が報告され、課題に対する情報共有が行われると共に、上司からの指示、やチーム員以外の職員による第三者の視点からのアドバイスを受けている。なお、環境農業推進課には3ヶ月に一度、「普及指導活動実績書」として報告し、情報共有及び、専技等の指導を受ける。</p>						
<p>職員の資質向上の取組状況</p>	<p>●職場研修</p> <p>技術の向上と地域課題を解決するため、毎年課題を定めて研修を実施している。</p> <p>1 南海トラフ巨大地震への対応（12名）</p> <p>巡回指導を中心に、津波想定地域を普及指導員が頻繁に訪れているが、地震発災時の避難場所や避難ルートをよく知らない者も多かったため、土佐市の防災対策課に依頼し、海岸部の高台の避難場所及び避難ルート等の講演を受けた。燃油タンク対策等の必要性も認識した。</p> <p>2 文書作成力の向上（10名）</p> <p>普及活動の場面で、文書で農家や関係者に情報を伝達する機会が増えている。的確でかつ分かりやすい文章表現力を身につけるため、一般社団法人 日本経営協会 三枝玲子氏による講義を受けた。</p> <p>3 伝統野菜の地域づくり研修（8名）</p> <p>中山間地での農業振興策の参考とするため、仁淀川町で行われている伝統野菜「田村カブ」を用いた地域活性化策について、組織の代表者から取り組みの考え方や状況の説明を受けた。</p> <p>●国段階研修（平成27年度）</p> <table border="1" data-bbox="448 1738 1369 1787"> <tr> <td>GAP導入支援研修</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>●県段階研修（平成27年度）</p> <table border="1" data-bbox="448 1877 1369 1926"> <tr> <td>派遣研修（先進技術習得コース：環境制御技術等の修得）</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>上記の他、県内専門技術高度化研修、自主企画研修などへも参加。</p>	GAP導入支援研修	1名	派遣研修（先進技術習得コース：環境制御技術等の修得）	1名		
GAP導入支援研修	1名						
派遣研修（先進技術習得コース：環境制御技術等の修得）	1名						